

問 ① 次の各問いに答えなさい。

(1) 東海から瀬戸内地方でさかんに栽培されるようになった、江戸時代の庶民の衣服の原料となる作物は何ですか。
(綿花)

(2) 異常気象などで不作となり、多くの人々が餓死に陥るほど食料不足になることを何といいますか。
(きまみ)

(3) 次の文の □ にあてはまる語句を書きなさい。

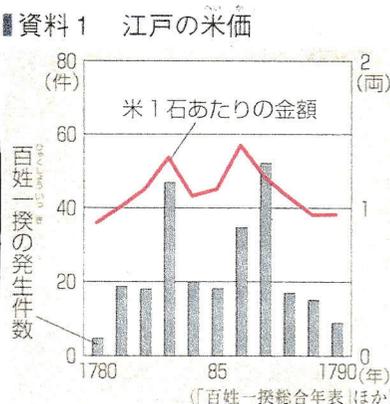
右の資料の □ a □ 連判状は、 □ b □ の中心人物がわからないよう、参加者が円形に署名したものである。



① (からかさ 傘) ② (百姓一揆)

問 ② 敦子さんは、田沼意次が1786年に老中をやめざるをえなくなったことに着目し、右の資料1、2を作成した。

このころの社会のようすについて資料1、2を参考にして書きなさい。



……破られた米俵が店の前に散乱し、米があちらこちらに山のように積まれていた。……(中略)……あとから聞いたところによるとさわぎのはじめは14、15人だったが、どんどん人々が増えて百人ほどになったということだ。……

(山東京山「蜘蛛の糸巻」部分要約)

天明のきまみが
おこって米価が
上がり、農村で
百姓一揆、
都市で打ちこし
がおこった。